

# こちら 中央区です Chuo 3月号 平成28年

**中央区役所**  
〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

- 総務企画課 ☎096-328-2610
- まちづくり推進課 ☎096-328-2614
- 区民課 ☎096-328-2240
- 福祉課 ☎096-328-2311
- 保護課 ☎096-328-2320
- 保健子ども課 ☎096-328-2419
- 中央税務課 ☎096-328-2181

大江出張所 ☎096-372-0311

中央区の人口 (平成28年1月1日現在推計人口) **人口** 186,712人(+75) **世帯** 96,387世帯(+12) **面積** 25.45km<sup>2</sup> (国土地理院公表値)

## 「水前寺まつり」が開催されます



水前寺成趣園一帯・水前寺江津湖公園で、「水前寺まつり」が熊本の歴史・文化と自然の調和の中で優雅に華やかに繰り広げられます。

子どもから大人まで楽しめるステージイベント、物産展や縁日など、さまざまなイベントがあります。夕方からは「水前寺こいあかり」が催され、淡い灯りに包まれた成趣園をご覧ください。ぜひ、春の水前寺にお越しください。

**期日** 3月26日(土)、27日(日)

**時間** 午前10時～午後9時

場所	内容
水前寺成趣園	縁日、能楽殿ステージイベント、茶道お手前披露ほか
水前寺江津湖公園 (旧熊本市水前寺体育館跡)	くまもと物産展 ほか

駐車場の混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。

詳しくは、水前寺まつり実行委員会事務局(☎096-284-7766)または出水神社(☎096-383-0074)へ。

(中央区役所総務企画課)

## 専門医による心の健康相談 **無料**

**日時** 3月8日(火) 午後1時半～3時半

**場所** 中央区役所3階保健子ども課相談室

**内容** 専門医による個別相談

**対象** 心の病気の方や家族の方など

**定員** 2組(先着順) ※予約制

**申込み** 3月4日までに、電話で中央区役所保健子ども課へ

## 熊本県知事選挙の期日前投票所を開設します

投票日当日に、仕事やレジャーなどで投票に行けない方は、期日前投票をすることができます。

期日前投票所	期間	時間
市役所別館自転車 駐車場8階会議室	3月11日(金) ～26日(土)	午前8時半 ～午後8時
大江出張所		

※土・日、祝日も投票できます。

詳しくは、中央区選挙管理委員会事務局(中央区役所総務企画課内)へ。

## ピカピカカミカミ教室 **無料**

**日時** 3月9日(水) 午前9時45分～11時45分(受付:午前9時半～)

**場所** ウェルパルクまもと3階すこやかホール

**内容** 幼児食とお口の話、おやつを試食、親子遊び、歯みがき練習

**対象** 中央区に住む平成26年10月～27年3月生まれの幼児と保護者

**定員** 25組(先着順)

**持参物** 親子(母子)健康手帳、仕上げみがき用歯ブラシ

**申込み** 3月1日から電話で中央区役所保健子ども課へ

## 育児教室 **無料**

**日時** 3月18日(金) 午後1時半～3時半(受付:午後1時～)

**場所** ウェルパルクまもと3階すこやかホール

**内容** 離乳食の進め方、赤ちゃんとのふれあい遊びなど

**対象** 中央区に住む平成27年10月～11月生まれの乳児(第1子)と保護者

**定員** 25組(先着順)

**持参物** 親子(母子)健康手帳、バスタオル

**申込み** 3月3日から電話で中央区役所保健子ども課へ

## 坪井川クリーン作戦に参加しませんか

「坪井川を清流に！」をテーマに坪井川の清掃活動を行います。安心して安全な地域づくりと環境保護を図るために、壺川校区まちづくり委員会・各種団体の共催で今年で19回目の開催です。以前はカワセミなどの野鳥とめぐり会えたそうです。地域の方とふれあいながら坪井川を清掃しませんか。



詳しくは、壺川地域コミュニティセンター(☎096-325-6655)へ。

**日時** 3月13日(日) 午前10時集合(雨天中止)

**場所** 壺川プレイパーク(永康橋横)

**内容** 坪井川清掃、ゴミ拾い

**持参物** 軍手、水筒など

詳しくは、壺川地域コミュニティセンター(☎096-325-6655)へ。

(中央区役所まちづくり推進課)

## 認知症家族の会「こもれびひろば」～本音で話すことができる仲間を見つけましょう！～

**①日時** 3月3日(木) (毎月第1木曜日)

**場所** グループホームゆうしん水前寺(中央区水前寺5丁目20-5) ☎096-382-5550

**②日時** 3月18日(金) (毎月第3金曜日)

**場所** 水前寺高齢者複合施設(中央区国府1丁目3-15) ☎096-364-1210

**時間** 午後1時半～3時半

**費用** 100円

**申込み** 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ

(中央区役所福祉課)

## 魅力再発見 城下町くまもと散策 五福界隈散策 6 「おてもやんと永田いねポケットパーク」

民謡「おてもやん」を作詞・作曲した「永田いね」、その「おてもやん」のモデルと言われる「富永登茂(通称チモ)」にまつわるお話をご紹介します。

永田いねは慶応元年(1865)年の瀬も迫った12月24日、中央区米屋町3丁目「糴屋」という屋号の味噌醤油製造業を営む主人、大八の一人娘として生まれました。永田家は細川家に多額の御用金(※1)を献納して、名字帯刀(※2)や家紋三柏(※3)の使用をゆるされていました。母、辰さんの希望で、4歳の時から踊りを習い始め、やがて琴・三味線・笛・太鼓など幅広く芸事に精通していきました。明治15年(1882)には、女芝居一座を組んで、大阪・名古屋方面まで巡業に出ており、一座を解散した後は、踊りや三味線、唄の師匠として大勢の弟子をかかえていました。

チモは安政2年(1855)12月5日に、飽田郡横手手永の北岡村(現・西区春日)の小作農家の長女として生まれました。明治6年(1873)の頃には父母を亡くしており、7歳違いの妹と料亭で下働きをしていました。

明治24年を過ぎた頃二人は出会ったと推測されています。芸で身を立たいねが20歳で春日の五反に稽古場を構えた頃、チモの住んでいた家が鉄道の開通に伴い立ち退きとなり、万日(現在の春日小学校一帯)に移りました。五反を通過して職場の料亭に通っていたため、出勤途中にいねの稽古場に寄って立ち話をしたり、お茶に呼ばれるようになって心を通わせ、二人はお互いの人間性に惹かれていったようです。

おてもやんの「おても」とは諸説があり、そのひとつがチモの下働き時代を指して、手間暇をかけるの「手間」が訛って「ても」となったというものです。また、「やん」については、社会的地位で異なる呼称の1つで、明治維新後に崩壊した士農工商に代わり、華族や士族、平民階級などが設けられました。平民の中でも上流は「さん」、中流「ちゃん」、下流「やん」に分かれ、おてもやんの呼び方は下流に属することになりますが、いねは親しみを込めて呼称していたとされます。

新幹線開通にあわせて、祇園橋際に小さな公園(ポケットパーク)が作られ、地域出身の「おてもやん」と「永田いね」の銅像が立てられました。五福校区の各種団体の方々が毎月2回ほど当番制で清掃活動を行っており、地域の方に深く愛されています。

参考文献 五福百年

くまもと人物紀行 おてもやん

旅ムック熊本版 シリーズ熊本偉人伝25

※1 江戸時代に幕府・諸藩が財政難に対処するため、商人などを指名して臨時に募集した金銭。

※2 江戸時代に農工商などの庶民が名字(苗字)を名乗り、刀を腰につけることを許されること。

※3 三枚の柏の葉からなる家紋。

(中央区役所総務企画課)

